

一般社団法人 タウンスペース WAKWAK
2015年度 事業報告

すべての人に居場所と出番がある社会、すべての人がSOSを発信でき、互いに支え・支えられる社会、新しい公共としての住民主体による「自立」「参加」「協働」による地域の再生と互いに絆を結び合えるつながりの地域社会をめざして以下のとおり事業を行いました。

1. 法人運営事業

1) 会員拡大

各種事業の場や広報活動を通じ、本法人の目的に賛同しともに活動を進めようとする正会員および賛助会員については、ほぼ昨年同様の会員数を確保できました。引き続き、継続更新を働きかけていきます。

	会員数	□ 数	前年度会員数	□ 数
正会員(団体)	1	5	1	5
〃(個人)	12	15	12	15
賛助会員(団体)	0	0	4	4
〃(個人)	78	239	76	226
合計	1団体・90名	259□	5団体・88名	250□

2) 理事会、社員総会および企画運営スタッフ会議の開催

理事会の開催

5月・12月・3月の計3回開催しました。

1. 第1回理事会

5月26日 富田ふれあい文化センター小会議室
2014年度事業報告、決算報告、監事監査報告について
【いずれも承認】

2. 第2回理事会

12月3日 富田ふれあい文化センター小会議室
12月補正予算について
マイナンバー制度施行にともなう法人基本方針ならびに取扱い
規定策定について
次年度以降事務局体制について
【いずれも承認】

3. 第3回理事会

3月24日 富田ふれあい文化センター小会議室
2016年度事業計画・予算案について
諸規定策定について
法人事務局体制について
【いずれも承認】

社員総会の開催

5月・3月の2回開催しました。

2014年度決算社員総会は社員(正会員)12名中、9名の出席(3名が議決代理)を得て開催しました。また、2015年度社員総会は社員(正会員)12名中、12名の出席(3名が議決代理)を得て開催しました。

5月26日 決算社員総会 富田ふれあい文化センター小会議室
2014年度事業報告、決算報告、監事監査報告について
【いずれも承認】

3月24日 2016年度社員総会 富田ふれあい文化センター小会議室
2016年度事業計画・予算案について
マイナンバー制度施行にともなう法人基本方針ならびに取扱い規定策定について
法人事務局体制について
決算社員総会日程について
【いずれも承認】

企画運営スタッフ会議の開催

2014年度は19名のメンバーでスタッフ会議を計3回開催しました。開催日は以下のとおりです。

5月26日、12月3日、3月24日

3) 経営・財務管理

持続的な活動を担保していくための経営計画と適切な財務管理を行うと共に、各種助成金の積極的活用を行いました。2015年度当期純利益は198,605円となり、昨年度に引き続き黒字決算を計上しました。前年度繰越金、当期剰余金と合わせ、次年度繰越金としては2,763,159円となりました。

4) マイナンバー法施行にともなう個人情報管理

2016年1月から実施されるマイナンバー制度に伴い、法人が取り扱う特定個人情報の範囲、安全管理措置について法人基本方針ならびに取扱い規定を定め、特定個人情報の取得・利用・保管等について厳正な事務に努めました。

2. 協働交流・調査研究開発事業

1) 情報発信活動

情報誌「WAKWAK通信」を計2回(第11号・12号)発行しました(発行部数は477部)。また、「タウンスペースWAKWAK」HP(URL:http://wak2.jimdo.com)の更新にも努め、広く情報発信に努めました。

2) シンポジウム・講演会等の開催

福祉と人権を基調としたまちづくり、新しい公共によるつながりの地域社会づくりにむけ各種講演会等へ参加すると共に、「人権ネットワークから20周年」記念事業をおはなカフェの企画運営で実施しました(後述)。

また、高槻市市民活動サポートセンター主催で「どうする子どもの貧困シンポジウム」も開催しました(後述)。

3) ネットワーク構築、他団体との協働

WAKWAKが実施する各事業において、地域社会とのネットワーク構築、市民活動団体相互および市民・事業者・行政との連携、協働促進事業について以下のとおり実施しました。

市民と行政との協働応援事業

- ・6月17日(土) 午後6時~7時半
- ・学習支援事業が2015年度市民と行政との協働応援事業採択され授与式が行われました。以後、学習支援事業を高槻市との協働応援事業として実施しました。

さにすば夏祭り

- ・7月25日(土) 午前10時~午後3時 知的障がい者通所支援施設サニースポット
- ・ボードレスアート教室工作キットを販売しました。

富田富寿栄盆踊り大会

- ・8月29日(土) 午後5時~9時 富田富寿栄公園
- ・実行委員団体として参加、例年を上回るたくさんの参加者で成功しました。

NPO協働フェスタ

- ・9月12日(土) 午前10時半~午後4時 生涯学習センター1F展示ホール
- ・展示の部で参加しました。

フェスタヒューマンライツ

- ・12月6(日) 午前9時半～午後3時 富田ふれあい文化センター他
- ・ボードレスアート展の同時開催(12月6日～7日)。
- ・わんだーぼっくす受講生作品展およびキッズゲルニカの展示を行いました。

その他

- ・富田まち・くらしづくりネットワークおよび富田地域包括支援センター/コミュニティケア会議、富田富寿栄住宅建替研究会、富寿栄連合自治会諸活動への参加を通して、地域福祉やまちづくり運動への参加を図りました。
- ・市民公益活動サポートセンターの諸活動への参加を通して、市内NPO団体等との連携を図りました。

4) 調査・研究、各種助成金事業

- ・先行している先進事例に学ぶとともに各種研究会等に参加しました。
- ・また、A´ワーク創造館主催のCB起業家講座で事例発表を行ったほか、大阪で開催された地域教育運動プロジェクトシンポジウムでも事例報告を行いました。
- ・各種助成金事業については下記団体から助成を受けました。

・大阪府福祉基金地域福祉振興助成金	200,000円
・キリン福祉財団	300,000円
・協働プラザ助成金	100,000円
・解放同盟エコー共済助成金	50,000円

*ベネッセ子ども基金は不採択となりました。

3.新たな福祉と人権・協働のまちづくり事業

1) 地域福祉グランドデザインづくり事業

富田富寿栄住宅建て替えに向けた取り組み

- ・市の全面建て替え方針を受けて、富田まち・くらしづくりネットワーク等と連携しながら地域まちづくりに引き続き取り組みを行うとともに「建替研究会」に委員として参画しました。
- ・「建替研究会」は、富田自治会連合・昭和台自治会連合・富田まち・くらしづくりネット・老人会・入居者委員会代表等13名で構成され、8月27日(木)、9月15日(火)、10月28日(水)、11月26日(木)、12月16日(水)の計5回開催されました。
- ・富寿栄住宅入居者17名で構成される「入居者委員会」は、10月27日(火)、11月17日(火)・12月12日(土)の計3回開催されました。
- ・しかし、2013年度末の「建替基本構想」を受けて2015年度末(2016年3月)策定予定であった「建替基本計画」は「周辺公共施設の将来のあり方も含め富田地区全体で都市機能の再構築をあわせて検討する必要」から策定が延期となりました。

16・19棟ごみ集積作画共同制作の取り組み

昨年度の富寿栄住宅10棟倉庫作画に引き続き、第四中2年生が中心となり2015年度は16棟・19棟のごみ集積場への共同作画に取り組み完成しました。

2) 生きがいと居場所づくり事業

①ボードレスアート事業

ボードレスアート教室「わんだーぼっくす」の開催

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------|-------|
| ・前期開講 | 5月～10月（8月は休み）の月2回 | 17名受講 |
| ・後期開講 | 11月～3月の月2回 | 17名受講 |
| *会場は全て、青少年交流センター2Fレッスンルーム。講師4名体制で実施。 | | |

本事業については、大阪府福祉基金助成金を活用したほか、高槻市・市教育員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会の後援もいただいて実施しました。

ボードレスアート展「わんだーぼっくす」の開催

- | | | |
|-------------------|---------------------|---------------|
| ・12月6日（日）～7日（月） | 午前10時～午後5時（最終日4時まで） | 富田ふれあい文化センター他 |
| 受講生とピックアップアーティスト展 | | 入場者数164名 |
| キッズゲルニカ展示 | | |

②コミュニティスペース事業

地域で子育て・高齢者・障がい児者支援や多文化共生に関わってきた女性が中心となり、身近な課題をゲストを招いて気軽に話し合える場としての「WAKWAKおはなカフェ」を開催するとともに、おはなカフェ企画として「人権ネットワークから20周年」事業を実施しました。

カフェ事業の開催

- | | | |
|------|-------------------------------|-------------------------|
| 第8回 | 6月5日(金) | 12:00～2:00/サニスポ喫茶クローバー |
| | ゲスト 木村里美さん (J-CAPT チーフディレクター) | |
| | | 「子どもの安心・自信・自由」 |
| | | 22名参加 |
| 第9回 | 9月7日(土) | 12:00～2:00/サニスポ喫茶クローバー |
| | ゲスト よつば もこさん | |
| | | 「親心とこどもの世界—何が普通?どう違う?」 |
| | | 16名参加 |
| 第10回 | 3月3日(金) | 12:30～1:30/サニスポ喫茶クローバー |
| | ゲスト 金香百合さん | |
| | | 「地域のおとなたちがこどものためにできること」 |
| | | 9名参加 |

- ・6月20日(土) 10:00~12:00 富田ふれあい文化センター大ホール
- ・手話コーラス「ありのままで」
ピアノ演奏 益永京子・奥村みきこ/ギター演奏 松島多見・吉田仁志他
- ・スライド上映「人権ネットからWAKWAK20年のあゆみ」
- ・映画「秋桜の咲く日」&つるちゃんの街頭紙芝居
参加者 96名

3) ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業

①地域支え合い事業

地域支えあい事業実行委員会の立ち上げ

- ・ひとりぐらし高齢者および高齢者世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に、社福つながり、NPO 法人ニュースタート事務局関西、NPO 法人日本スローワーク協会、地元関係団体も参画して一昨年10月に実行委員会を立ち上げ、12月に富田富寿栄地域内高齢者を対象に12月より「高齢者のお困りごと」訪問調査を実施いたしました。
- ・実行委員会では、調査結果集約をふまえ関係団体とサービス提供についての会議等を開催し事業スタートに向けた取り組みを進めてきましたが、ボランティアサービス提供者の確保等の課題があり、事業スタートまでには至りませんでした。

②ライフサポート(市民後見)事業

市民後見人バンク登録の取り組み

- ・府社会福祉協議会が呼びかけ高槻市含む9市町が参加した市民後見人養成講座は2012年度にスタートし、高槻市からは3年目となる2015年度までで21名がバンク登録にいたりました。
- ・2016年5月現在で4名の方が市民後見人に選任されて後見活動を行っています。

③障がい者グループホーム整備事業

グループホーム見学会の開催

- ・いわゆる重度障がい者夜間支援型グループホーム整備については、富田地域内で建設用地取得のめどがつかしました。
- ・これを受け、社福つながりでは男性7名入居のグループホーム(福祉避難所・児童相談所併設)建設に向け、昨年度末に高槻市へ国庫補助協議を行い現在国庫補助協議中です。
- ・すでに既存建物については2月に解体工事を済ませており、国庫補助確定を待って秋から工事に着手し、2017年春の開設を目指しています。

4) 青少年・子育て支援事業

- ①こどもの歩みバックアップ「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業」
生活保護受給および生活困窮世帯や家庭困難層の中学生を対象に、学習

支援を行うことで低学力の克服と地域における「貧困の連鎖」を防止する事を目的に一昨年8月より学習支援事業をスタートさせました。

学習支援教室ワンピースの通年開催

- 期 間 4月～3月の毎週2回月・水のP7～9
 - 場 所 富田ふれあい文化センター2F 学習室1・交流室1
 - 対 象 中学生(定員10名に対し13名が参加)
 - 参加費 6,000円/月(教材費・保険代含む)
 - 講師体制 教職員経験者5名および地域大学生12名(毎回5～6名体制)
- 通年開催となった2015年度は定員10名に対し13名の中学生が参加。生活困窮以外に発達障がい等で課題を持つ生徒のニーズも高く、大学生の講師体制の増員を図る等により事業の円滑な実施に努めてきました。

青少年相談事業並びに中学校等との連携

- 青少年相談事業を通じた親支援も並行して実施(延べ19回)したほか、それぞれの生徒の特性や課題等について当該中学校との連携会議を概ね月1回のペースで開催しました。結果、参加の中学3年生5名は全員希望の進路に進むことができました。
- 本事業については、キリン福祉財団助成金を活用したほか、「高槻市市民と行政との協働応援事業」としても実施され、高槻市・市教育委員会の後援をはじめ地元の各団体、行政関係機関、教育機関とも連携して行いました。

「どうする子どもの貧困シンポジウム」の開催

- 高槻市市民活動サポートセンター主催でシンポジウムを開催し、岡本代表理事がコーディネーターを務めるとともに学習支援教室わんピース受講生もパネラーとして発言。参加者から大きな共感を得ました。

• 1月30日(土) P1～4時 高槻市市民交流センター(クロスパル)
5F 視聴覚室

• 基調講演「子どもたちとつくる貧困とひとりぼっちのないまち」

山科醍醐こどものひろば 村井琢哉理事長

報告「高槻市における子どもの貧困の状況」

高槻市こども育成課 北川課長

パネルディスカッション

「地域の子どもが育つ環境をつくる」

山科醍醐こどものひろば 村井琢哉理事長

「ひとり親家庭の子どもたちへの学習支援」

NPO 法人あっとすくーる 渡 剛理事長

「学習支援教室への参加を通じた私の思い」

学習支援教室わんピース受講生

*コーディネーター 一社タウンスペース WAKWAK 岡本茂

• 参加者 88名(WAKWAK 関係39名)

②青少

青少年の荒れからの再生をめざし活動している「富田ふれあい義塾」のイベントの後援等の支援を行いました。

5) 人材育成事業

富田まちくらしづくりネットワークや地元自治会等への活動参加を行うとともに、様々な活動を通してまちの達人発掘、コミュニティボランティア育成等にも取り組みました。

4. その他事業

部落解放同盟高槻富田支部、富田富寿栄老人会、富田地区企業者組合、人権ネットワーク、社福つながり後援会・家族会ひだまりから事務受託契約を行い、計5団体の事務受託について適正に事業を執行致しました。